

公開シンポジウム

危機における国連機関の役割と
戦略的ジェンダーの視点

2011. 5 / 18 (Wed.) 17:00 ~ 19:00

コーディネーター 菅野琴 / 司会 館かおる

池上 清子 (国連人口基金 東京事務所長)

「国連人口基金におけるジェンダー関連課題の諸局面」

国際基督教大学大学院で行政学を専攻。国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) 定住促進担当、国連本部人事局行政官、ジョイセフ (JOICFP) 調査計画部長、同企画開発部長、国際家族計画連盟 (IPPF) ロンドン資金調達担当官などを経て、2002年9月より現職。開発途上国での女性の健康、性と生殖に関する健康 / 権利 (SRH/RR)、人口と開発、HIV/エイズなど諸問題に取り組む。外務省ODA評価有識者会議委員、内閣官房長官諮問機関アフガニスタンの女性支援に関する懇談会メンバーなどを務め、保健分野 NGO 間のネットワーク構築にも寄与。著書に「有森裕子と読む人口問題ガイドブック」(2004年国際開発ジャーナル社)、「シニアのための国際協力入門」(共著、2004年明石書店) などがある。



齋藤 万里子 (UNDP 元国連開発計画職員、ジェンダーと開発コンサルタント)

「国連開発計画のジェンダー平等戦略と8ポイント・アジェンダ」

上智大学比較文化学部卒業、コーネル大学修士課程修了。在ホーチミン日本国総領事館専門調査員、国連開発計画 (UNDP) 開発政策局貧困削減部、同スリランカ事務所 (復興支援・災害管理) を経て、同NY本部開発政策局ジェンダーチームにてUNDP/日本WID基金担当官を5年勤め、UNDP Gender Equality Strategy 2008-2013の策定プロセスをリード。現在フリーのコンサルタントとしてUNDPジェンダーチームやモンゴル駐在事務所、欧州・CIS地域事務所のプログラム策定、研修、リサーチに従事。



菅野 琴 (元ユネスコ職員 お茶の水女子大学 IGS 客員研究員)

「人道支援か能力開発か？ — 国連機関の葛藤」

上智大学とトロント大学大学院で社会学を専攻。ユネスコ職員としてバンコクやパリ本部に勤務。ネパール・カトマンズ事務所長も務める。お茶の水女子大学ジェンダー研究センター客員研究員。論文に「海外の女性 / ジェンダー情報 ネパール女子奨学金制度」国立女性教育会館研究ジャーナル 2009-3, 13、「すべての人に教育を、ユネスコのジェンダー平等教育への取り組み」国立女性教育会館研究紀要 2002, 6、「ネパールにおける女子の基礎教育参加の課題 -- ジェンダーの視点から」『ジェンダー研究』(お茶の水女子大学ジェンダー研究センター - 編・刊) 2008-3, 11, (通号 28) などがある。



会場：本館 135 号室 (カンファレンスルーム)

*申し込み多数の場合は、会場変更あり

要申込・入場無料

*他専攻、他大学の学生、学部生の参加も歓迎します。